

執筆 者 紹 介

坂 本 武 (本学教授) Haruki Lee (本学助教授)
上 山 泰 (本学名誉教授) 吉 田 一 穂 (甲南大学非常勤講師)

【編 集 後 記】

*

『英文学論集』第46号をお届けします。今年は大学院修了者に対する査読制度を取り入れて2年目になります。昨年同様、編集委員会委員の全員による厳重な査読の結果、2名の応募者の内、1名が採択されました。今後ともふるって論文をお寄せ下さい。

**

2005年12月 関西大学英文学会総会にて筒井脩先生の最終講義「Shakespeareにおける nature の意味」が行われました。長年に渡って教育にご尽力いただいた先生に感謝致しますとともに、一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

2006年4月 英語英文学専修から英米文化専修が分離独立しました。

2005年度大学院集中講義を(客員教授)池上嘉彦先生にお願いし、2006年度大学院集中講義は渡邊孔二先生にお願いしました。誌上の場をお借りして心よりお礼申し上げます。

この2年間の主な出版情報は下記の通りです。

西村孝次・鉄村春生・上村哲彦監訳『D・H・ロレンス短編全集4』(大阪教育図書 2005.2)

鉄村春生・上村哲彦・戸田 仁監訳『D・H・ロレンス短編全集3』(大阪教育図書 2005.9)

鉄村春生・上村哲彦・戸田 仁監訳『D・H・ロレンス短編全集5』(大阪教育図書 2007.1)

成田義光・長谷川存古共編『英語のテンス・アスペクト・モダリティ』(英宝社 2005.10)

武藤脩二・入子文子編著『視覚のアメリカン・ルネサンス』(世界思想社 2006.2)

筒井 脩『シェイクスピアにおける Nature の意味』(関西大学出版部 2006.3)

入子文子『アメリカの理想都市』(関西大学出版部 2006.3)

【編集委員会委員：入子文子*、上村哲彦、島崎 守、長谷川存古、干井洋一】

(五十音順 *印 編集委員長 文責：入子文子)

関西大学英文学会大会報告

関西大学英文学会は、近年の文学部の組織再編の動きに対応するかたちで、新たに「言語・文学・文化の会うコモン（共有地）」として英文学会大会を開催する試みを始めました。関大英文学会の大회는、かつて関大創立の六十周年を記念した折に一度だけ開かれたことがありました。その後長い間私どもは、大会というものを閑却していたのでした。しかし新たな状況のもとで今回を私たちの改めての出発の機会と捉え、「復興第1回」と銘打って平成17（2005）年12月22日（木）に文学部第3会議室において大会を開催しました。幸い各位の協力を得て成功裡に終わりました。続いて平成18（2006）年12月17日（日）には第2回大会を開催することが出来ました。以下に2回の大会プログラムを紹介し、大会報告と致します。大会は今後とも続けて行きたいと思えます。皆さんの協力をお願い致します。（大会準備委員：坂本）

§ 《復興第1回大会》

日時：2005年12月22日（木） 12:50～17:40

場所：文学部第3会議室

開会の挨拶（上村哲彦）

総会

〔研究発表〕：司会 清水伊津代（近畿大教授）

1. 上山 泰（関大名誉教授）「ハーディ小説に見る宇宙と極地」

2. 柏原郁子（大阪電通大専任講師）「“Vision in Blake’s Painting and Poetry”」

〔コンサート〕：《アーリーミュージックカンパニー》による演奏：

「古き良き時代のイギリスの愛の歌——ダウランド、はやり歌、
キャロルを集めて」

ソプラノ 平井満美子

リュート 佐野 健二

〔講演——最終講義〕：

筒井 脩「Shakespeareにおける nature の意味」

閉会の挨拶（坂本 武）

懇親会

§ 《第2回大会》

日時：2006年12月17日(日) 12:50～17:10

場所：関大総合学生会館「凜風館」4階小ホール

開会の挨拶（上村哲彦）

総会

〔研究発表〕

1. (司会：若狭智子 関大非常勤講師)

吉村征洋 (立命大非常勤講師) 「コリオレイナスとローマ」

2. (司会：立本秀洋 大阪電通大専任講師)

松田正貴 (龍谷大非常勤講師) 「タオス——アメリカン・アートの源流」

〔新思潮報告〕：司会 豊田真穂 (関大専任講師)

小林 剛 (関大助教授) 「文化研究と文学研究のあいだ」

〔コンサート〕：〈オペラとシェイクスピア——「オテロ」, 「ロミオとジュリエット」, 「ファルスタッフ」より——〉

司会 住屋和子 (関大非常勤講師)

ソプラノ 小林由佳理

ピアノ 林 朝子

〔講演〕：司会 (島崎 守)

河野哲二 (京都女子大教授)

「D. H. ロレンスの絵——チャタレー夫人はどのように描かれたか」

閉会の挨拶 (坂本 武)

懇親会

平成 17 年度 英文学会会計報告

(平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月)

収入の部		支出の部	
繰越金	4,529,594 円	『英文学論集』 44 号印刷代	414,750 円
学生会費	600,000 円	『フォーラム』 34 号印刷代	341,250 円
特別会費	160,000 円	郵送費	23,260 円
一般会費	3,000 円	英文学会開催費	58,866 円
利息	1,036 円	英文学会公演謝礼	100,000 円
		人件費	188,100 円
		雑費	10,358 円
		次期繰越金	4,157,046 円
合 計	5,293,630 円		5,293,630 円